令和8年度　標茶町立沼幌小学校グランドデザイン

《標茶町教育行政執行方針》

ふるさと標茶に誇りと愛着をもち、自らの夢の実現のために挑戦し続ける子どもの育成

〇社会に開かれた教育課程の実現
〇ふるさと・キャリア教育の充実
〇教員の資質向上
〇主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善
〇生活習慣・学習習慣の確立
〇今日的な課題への対応
〇道徳教育の充実
〇いじめ・不登校への対応
〇読書活動の充実
〇健康な体づくりの充実
〇安全教育の充実
〇食育の充実
〇特別支援教育の充実
〇幼児教育の充実
〇教育環境の整備

学校教育目標

・進んでする子ども
・深く考える子ども（知）
・豊かな心をもつ子ども（徳）
・じょうぶで明るい子ども（体）
・がまん強い子ども

めざす子ども像

豊かな心をもち、主体的に、学び、考える子

学校経営の基本姿勢

子どもの「好き」を育み「得意」を伸ばし、挑戦を全力で支え応援する

《学校スローガン》

なかよく　やさしく　たくましく

《学校ロゴマーク》

学校教育目標が表れた「１０の姿」

(1)やってみようとチャレンジする姿
(2)自分で考えて行動する姿
(3)友だちの考えと比べながら学習する姿
(4)理由や根拠をもって考える姿
(5)相手の気持ちを考えて行動する姿
(6)感謝や思いやりの言葉を大切にする姿
(7)体を動かすことに喜びを感じる姿
(8)元気に登校し楽しく生活する姿
(9)苦手なことに立ち向かう姿
(10)粘り強く続ける姿

学校経営の重点

豊かな心の育成

〇生徒指導の充実
・i-check等各種調査の活用
・生活リズムチェックの活用
・おしゃべりタイムの取組
・保護者との個人面談
・児童の人権を尊重した指導
〇道徳教育の充実
・主体的に実践する力の育成
・情報モラル教育の充実
〇特別活動の充実
・児童会、縦割り班の充実
・体験的な活動の充実
〇読書活動の充実
・朝読書の実施
・司書と連携した読み聞かせ活動の充実
〇キャリア教育の推進
・キャリアパスポートの活用

確かな学力の定着

〇授業の充実
・主体的・対話的で深い学びの実現
・デジタル学習基盤の利活用
・個別最適な学びと協働的な学びの推進
・指導と評価の一体化
・主体的に学ぶ児童の育成
〇総合的な学習の時間の充実
・ふるさと教育の充実（カヌー体験、馬とふれあう体験）
・地域講師を活用した学び
〇特別活動の充実
・町の社会教育事業との連携（少年の主張、町民憲章書道）
〇家庭学習の充実
・学年段階に沿った内容の工夫
・自学自習の力の育成
・1人1台端末の効果的な活用

健やかな体の育成

〇体力づくりの推進
・体育授業の充実
・体育エキスパート教員や町スポーツ推進Coの活用
〇基本的な生活習慣の定着
・生活リズムチェックの活用
・清掃指導、歯磨指導の充実
〇食育、性教育の推進
・健康、心の相談の充実
・標茶高校連携食育事業
・栄養教諭による食育授業
・健康診断の確実な実施
〇特別活動の充実
・児童会主体の運動遊びやレク
・遠足、チャレンジマラソン
〇安全教育の推進
・避難訓練、防犯教室、防災教室、交通安全教室の実施

学校の安心・安全

・安心メールの活用
・いじめ未然防止、見逃しゼロ
・おしゃべりタイム
・不登校児童への支援
・ＳＯＳの出し方、命の安全教育
・危機管理マニュアルの見直し
・救命救急講習の実施
・アレルギー、感染症、暑さ対策

働き方改革

・職員の休憩時間の確保
・休暇取得促進（年休15日以上）
・時間外在校等時間1ヶ月平均45時間以内
・職場の心理的安全性の担保
・職員自らの主体的な取組
・余白時間「モクロク」の設定

特別支援教育

・年度当初の教育相談実施
・児童、保護者のニーズの把握
・連絡帳を活用した保護者との共通理解と信頼関係の構築
・個別の教育支援計画、個別の指導計画の活用
・関係機関と連携の充実

家庭・地域・教職員との連携
～ひらく・つながる・創る～

＜地域・外部との連携＞
●地域人材・外部講師の積極的活用
●小小連携、小中連携の推進
●沼幌地区学校運営協議会の充実
●沼幌地域会と連携した取組
●町教委、役場等との適切な連携

＜家庭との連携＞
●学校便り・ホームページ・安心安全メール等の細やかな情報提供
●基本的生活習慣・情報モラルの定着に向けた連携（個人面談等）
●学校評価の活用　●PTA活動の充実

＜教職員間の連携＞
●組織的な人材育成（実習生受入れ）
●「報連相確」の日常的な実施
●複数で児童に関わる協働体制の確立
●働き方改革の推進と服務規律の徹底
●校務モニターによる情報共有